

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.35 2020年2月

No.
35



蔡國華：果実（水彩）



---Information---

Art space 画空間



chihirobo×collage5 展

2月24日（月）～29日（土）

12:00～18:00

（最終日は15:00まで）



栗原 明理 作品展 ～めぐる季節～

3月2日（月）～7日（土）

12:00～18:00

（最終日は17:00まで）

デザイン：加藤麻依子（画空間）

ユーザーの声をフィルムに表現する

クリロン化成株式会社

<https://www.kurilon.co.jp>

KURILON Workshop
心が豊かであるために・・・

<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

画空間

<http://www.a-kukan.com/>

Studio My空間

<http://www.a-kukan.com/mykukan/>

第15回

ヒューマンフロンティアフォーラム (HFF) 2019 開催



旧軽井沢倶楽部にて▲

2019年9月、今年も軽井沢での清々しい天気の下、1泊2日でHFFが開催されました。今年のテーマは「価値を創造する組織とは」です。

1 イノベーションはなぜ起きないのか
あなたにとって価値とは何か、なぜ価値を求めるのかといった「価値」そのものに関して意見交換を行いました。定義は様々でしたが、価値とは他者との関係性の中で生まれるものという共通認識に至り、我々はこのような存在であり、何を目的にどのようなプロセスで価値を創造するのかを共有することが重要と感じました。

次いで世界銀行（以下、世銀）で組織改革に奮闘されたO氏からの発表がありました。「世銀は戦後より主に発展途上国の開発を目的に融資活動を行ってきたが、近年の国際金融が多様化した中で差別化が必要となる。」O氏が最後に力説されたのは、組織改革には薪をくべ続けるこ

とができるかどうかが重要であるというところ。我々の組織改革も薪をくべ続けることにしたいと思いましたが、

2 価値創生組織
社長の栗原が当社の目指す「価値創生企業」とは何か、実践方法とマネジメントについて発表しました。当社の実施内容があまりにも目的に合っていることに、感嘆の声が上がり、その一要因に栗原社長の突出した存在を指摘する意見もありました。

当社のマネジメントで一貫していることは、個人に依存した形ではなく、会社の理念・考え方に基いて実践されていること。新たなチャレンジの中で人の育成を加速させたいと思います。

3 未来志向の価値創造型組織の創生に向けて
コンサルティング会社に従事されているT氏より「社会のデジタル化の先にあるもの」について話題提供があり、20年後に求められる価値について、現在とは異なるシナリオを想定し議論しました。今後も未来志向の価値創造について考え続けていきたいと思っています。

様々なバックボーンを持つ多彩な参加者から、普段と異なる環境で大いに刺激を受けた2日間でした。この刺激が成果に繋がるように取り組むことにしたいです。

技術開発課 小柳健治

人材部

育成委員会 と 留学生

クリン化成子会社
爽やか製袋

当社では、「技術経営」と「人材経営」を経営の二本柱としております。人材経営として、社員が職務を通して成長できるよう、社内資格や研修、育成委員会など、独自の制度や仕組みづくりを社員の知恵と工夫で考え取り組んでいます。

子会社の「爽やか製袋株式会社」では、日本人の従業員と一緒に海外からの留学生が多く働いています。単純労働としての雇用ではなく、当社で働く事を通じて留学生も成長できるよう、研修や処遇に日本人との違いはありません。

研修はOJT (On-the-Job Training) を中心に実施し、技能の習得レベルによって初級・中級に区分しています。中国やベトナム、ネパール等、様々な国籍の留学生が在籍していますが、勤務時間中は日本語を原則とし、課題や問題を共有する引き継ぎノートも日本語で作成しています。

言葉の壁があっても、日本人の従業員と同じレベルの技能が要求されますが、処遇にも差はないので公平です。多様な考え方・日本の文化を感じ、お互いの個性を尊重しながら、協働していきたいと考えます。

留学生の声

社員の皆さんはとても優しく、外国人に対して偏見や差別がないので働きやすいと感じています。ゴミの分別や片付け、食事の準備や部屋の掃除まで指導して頂く中で、日本の文化・考え方や習慣を学ぶ機会となっています。

最初は日本語が難しく、覚えるまでに時間がかかり苦労しました。作業手順書や非常時のチェックリストを母国語に翻訳したり、様式の記載方法を記述形式から選択式にする等工夫する事で、記入時間の短縮や、新しく入社される留学生の方にとっても理解しやすい内容となりました。

爽やか製袋 育成委員会の声

留学生の皆さんは自分から業務を習得しようという意識が高く、積極的に行動に移すまでが早いです。コミュニケーションも得意な方が多く、誰とでもすぐに話せる文化があると感じます。留学生と働く事で、生産性も大きく向上しました。



▲「爽やか製袋」の皆さん

作業のスピードや取り掛かりが早くて助かります。品質や時間に対する意識の面で、文化や習慣の違いを感じることもあり、お互いの良い面を活かし、協働することが課題です。



▲2020 蔡國華カレンダー
「季節の街角素描」

アートクリアファイル
A4サイズ

amazon にて好評発売中

アトスペース画空間では2019年の締めくくりに、12月20日から27日まで『蔡國華カレンダー2020「季節の街角素描」原画展』が開催されました。

蔡氏が2020年のカレンダーのために描き上った原画6点に加え、油彩や水彩など計14点の新作が並びました。

しっとりした木炭のテクスチャーに単色の水彩で印象的な影が施された異国情緒豊かな海外の街角の風景が会場を満たし、ここからなにやらドラマティックなストーリーが生まれそうで、さながらモノクロームの映画の中に迷い込んでしまったかのような気持ちにさせられます。

入り口から会場入って中盤に、「製作中」と注釈のある風景画が一点、イーゼルに載せられています。その下に設置された板は、緻密に鉛筆や木炭で描かれた具象的な作品になっていて、来場された方々がここでクスッと一息つかれるよう

な一コマも見られ、蔡氏のユーモアのセンスと技術力の高さにみなさん感心されていました。

6点の作品が収まった2020年季節の街角素描カレンダーと毎年恒例のカレンダー付きクリアファイル（今年は中国・広東の風景でカレンダー一面にはオリンピックマーク付きです）も大好評でした。

今回は蔡氏が全日在廊されお客様と楽しそうに歓談されていて、終始和やかで、楽しい雰囲気にも包まれたカレンダー原画展でした。

画空間 所由香



わくわく アトリエ My空間の ワークショップ

MY空間では、子どもたちの可能性を拓く場所になりたいとの思いから、「わくわくアトリエ」という美術のワークショップを昨年の秋から開始しました。親子で参加できる毎月の折り紙の会も人気です。

また大人向けのワークショップも企画し、昨年は生木のリースやアクセサリーで好評をいただきました。

今年もさらに、皆の「楽しい！」が生まれる場所になるよう、企画していきたいと思っています。

MY空間 小西由夏



クリスマス会



MY空間での昨年最後のイベント、クリスマス会が12月25日に行われました。今年は手作りのツリーやリースの心のこもった装飾も加わり、温かなクリスマス会の雰囲気を感じられました。ゲームやクリスマスケーキに、子どもたちは大喜び。この楽しいひと時が、子どもたちの記憶に残り大切な思い出になっていくといいなと思います。

MY空間 野首恵子